

2014年1月

●霊山PJ 実務者会議(2014年1月19日)

霊山プロジェクト会議は1月19日(土)に霊山で行われました。

- (1)水田除染プロジェクトに関しては、粃の放射性物質の移、食味分析結果の報告がなされました。
- (2)「新しい東北」先導モデル事業関係プロジェクトに関しては、資金運用方法、養蚕小屋の改修、ビニルハウス設置の検討、下小国区民会女性部のメンバーによる地元大豆から製造した豆腐の試食会と交流などがおこなわれました。

●復興庁「復興支援」事業検討会(2014年1月18日)

「新しい東北」先導モデル事業関係プロジェクトは、金融機関からの資金運用方法、養蚕小屋の改修、ビニルハウス設置の検討、下小国区民会女性部のメンバーによる地元大豆から製造した豆腐の試食会と交流などがおこなわれました。今後の計画も検討され、次回2月は霜里農場の金子美登氏の有機農業の講演、3月は豆腐製造の大手メーカーである太子食品工業株式会社の専務取締役役に有機大豆や豆腐に関する講演、バイオマスのFIT 関連講演などの具体的な作業内容を検討しました。



●水田除染活動(2014年1月18日)

昨秋、試験水田で収穫した粃の放射能濃度分析結果、放射性物質の移行率と土壤放射能濃度の関係、食味分析結果、窒素、リン、カリの分析結果が報告され総合的な評価がなされました。また竹炭の放射性物質の吸着特性試験結果の検討がなされました。様々な意見が交されました。その後試験水田Cから収穫されたお米を賞味しました。前回に続き大変美味しく出来て全員感動しました。



霊山プロジェクト実務者会議



下小国区民会女子部による豆腐試食会と
試験水田お米賞味

●石和温泉プロジェクト(2014年1月10日)

山梨県石和温泉旅館協同組合との活動は当ホームページで度々紹介しておりますが、この度山梨日日新聞1月7日付けに「温泉熱活用して発電」としてその内容が掲載されました。温泉を熱エネルギーとして活用する方法などを検討する研究会を発足して具体的に進める事となりました。

●「新しい東北」先導モデル事業(2014年1月1日)

復興庁「新しい東北」先導モデル事業の内容

食とエネルギーの循環を活用した戦略的農業ビジネス展開事業(福島県伊達市霊山町小国地区)の活動計画をご紹介します。取組は下記4項目です。

【取組1】小国ブランド農産物栽培事業:樹皮培地等による作物栽培(放射能汚染回避) エネルギー作物(飼料米、菜種)試験栽培

【取組2】小国ブランド加工食品製造事業:地元食品加工会社との新製品共同開発、有機大豆製品開発

【取組3】エネルギー燃料・肥料事業:農産物および加工食品工場残渣のメタン発酵によるバイオガス製造と消化液の液肥利用

【取組4】農事組合法人設立事業

尚、復興庁支援は取組1～3です。支援期間は平成25年10月から平成26年3月までです。